

新入社員への手紙

どしどし自己表現を

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。そして、“ようこそ、社会人へ。ようこそ、土木業界へ。”今、皆さんはどのような心境ですか？これからの社会生活への期待や不安、様々な思いや考えが入り混じって複雑な心境だと思いますが、それは皆さんだけではなく、私も含め社会人すべての人達が経験してきたことです。抽象的な言い方ですが、まずは、皆さんがこれから所属する場所へ、大きく一歩踏み出して懷に飛び込んでください。諸先輩方は、しっかりと受け止めてくれるはずです。

こうした手紙（投稿）を依頼された最初、頭の中で駆け巡ったのは、“新入社員諸君へ云々とは、私もそういう歳になったのか。”という思いでありましたが、これを機に、入社してから今日までのことを思い返し、今感じることを、考えることを皆さんにお伝えしたいと思います。大学卒業後、土木技術者として入社し、現場に20数年間携わってきましたが、同じ現場というものはひとつとしてなかったです。同様のモノを造るにしても基本はありますが、場所、周辺環境、気象、時期等の多様な条件によって、造り方、攻め方が変わってくるのです。言い換えれば、現場がその時々によって、私たち技術者に対して現場を見極め、立案し、それを遂行する力を試してくるのです。「あなた達に、成し遂げることが出来ますか？」と。それに立ち向かって行く、なかなかやり甲斐のあることだと感じています。そして、並々ならぬ苦労に直面する時もあるだろうが、現場に関係するすべての者の力を結集して、成し遂げた時の達成感や充足感は、何物にも代え難いものではなかろうかと感じています。

よく、土木工学（現場）は経験工学とも言われます。成功や失敗、様々な経験を積んで初めて得られる知識や考えが多いためです。経験のない新

入社員の皆さんが現場へ配属されて、いきなり現場で何かを成すことは不可能でしょう。では、如何にすれば少しでも早く、何かを成すことが出来るようになるだろうか？それは『自分の考え、思いを外に向けて表現すること。つまり、自己表現』を心掛けることではないかと思います。現場に行って、現物を見て、現実を知る（現状認識のための三現主義と言いますが）。その上で、自分で調べて、自分の考えを持つ。その考えを経験豊富な諸先輩方に向かって表現することによって、リアクションがあり、コミュニケーションが広がる。そこで、更に良い考えが思いつくこともあれば、間違いに気づくこともある。それらが自分の知識となり、自身の能力アップにつながるはずです。どうか新入社員の皆さん、自分の考えなど相手にされないだろうと遠慮するのではなく、どしどし自己表現してください。私も含めてですが、諸先輩方は、皆さんのフレッシュで柔軟な考えや発想を待っていますよ。得てして、皆さんの考えや発想の方が良い場合もありますからね。

最後に、今、建設業界は国も交えて、つぎの担い手である若者・女性（つまり皆さん）が働きやすい環境の整備、残業の削減、休日確保等について取り組んでいます。皆さんのことを真剣に考えている業界ですので、しっかりと腰を据えてスキルアップに励み、自信に満ちた技術者となってください。そして、未来の建設業界を牽引していきましょう。

株木建設株式会社

東京本店

統括所長 大角 貴樹





新入社員への手紙

この業界の魅力を3つ言えるまで

新入社員の皆様、この度は入社おめでとうございます。

さて大学、高専そして高校を卒業してよいよ社会という大海原へ旅立つ皆様方に、道標としてお役に立てるか分かりませんが、社会人の先輩として私の思っていることを記したいと思います。

私は平成6年に入社しました。学生時代は世に言うバブル景気でしたが入社時はバブルもはじけて景気が下降し始めた時の入社でした。それでも就活はまだ氷河期になっておらず、苦勞することなく早々に弊社（当時は合併前で三井道路）から内定を頂きました。4月に入社式を行ない顔合わせの懇親会が終わるや否や北海道に飛び立ち、4ヶ月間の研修を経て8月から初めて現場に配属されました。現場では研修期間の4ヶ月とは大半が真逆でそこから数年間は苦痛な日々が正直続きました。道路会社は今でこそ労働環境が大幅に改善されましたが当時はまだ俗に言う3Kの職種であり、超過残業や休日勤務は当たり前で、極めつけは舗装をした後の作業着が乳剤、軽油で油まみれとなり着替えずに夕飯を外食で済ませた時、他のお客から白い目で見られたこともありました。

ここまでだと良い情報ではないので大丈夫なのかと考えてしまいますが、当然私は現在も現役で退職しておりません。退職に至らない理由は若干の我慢とそれ以上の魅力が弊社とこの業界にあるからだと思います。いよいよその魅力を記しますが、数え上げるとキリがないので、ここでは3つに絞ります。

魅力の1つ目は作業所長となり現場をマネジメントできることです。現場が会社だとすれば作業所長は社長と言っても過言ではありません。その作業所長の考え方により出来栄も変われば利益も大きく変わってくるからです。工夫して努力して最終的に利益がでた場合、そして施工主に次も

とお願いされた場合に途中の苦勞も消えてしまいます。

魅力の2つ目は区切りがあることです。区切りと聞いてピンと来ないかもしれませんが工事には工期があり、完了すると一区切りして、また次の工事へと移ることができるのです。その区切りは非常に重要で、その工事において幾ら嫌なことがあってもそれは永遠には続かずリセットできることです。

最後の3つ目の魅力はやはり工事が終わった時の達成感だと思います。工事の大小に係わらず、苦勞した現場が終わった時には何とも言いようのない安堵感が湧いてきます。またその苦勞したことが自分の財産となり次のステップに繋がることです。

ひとによってこの業界の魅力の感じ方は違うと思いますが、多かれ少なかれ魅力を感じながらこの業界に属しています。皆様も入社した暁には一度、この業界の魅力は何なのかを考えてみては如何でしょうか。最低3つ言えるようになればあなたも立派なエンジニアの仲間入りです。社会人となり、不安と期待で胸が一杯だと思いますが、皆様は若いです。失敗を恐れずに何事にもチャレンジ精神を持って、社会人の一歩を踏み出してください。

三井住建道路(株)

関東支店 北関東営業所

所長 阿部 哲也

